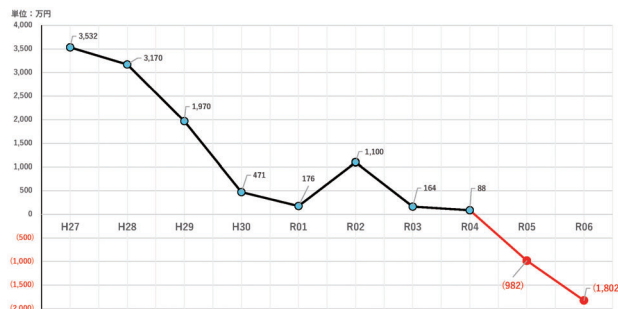


厳しさを増す水道事業の経営状況（赤字）

水道施設の維持・修理には莫大な費用がかかります。水道事業は皆さんにお支払いいただく水道料金でその費用をまかなう「独立採算制」により、基本的に税金などに頼らずに運営しています。しかし近年では、給

水人口の減少や節水機器の普及などにより、料金収入が年々減少しています。現在の料金体系のままでは、増え続ける突発的な修理費用をまかなうことができません。令和5年度から水道事業は赤字を計上しています。町

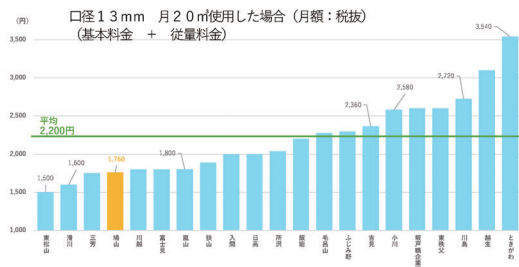
では水道水の多くを県から購入していますが、その購入費用は自治体の黒字・赤字に関わらず、一定額を支払う必要があり、しかも単価は上昇しています。このままでは、修理を行うための資金そのものが底をつくおそれがあります。



◀水道事業における純利益の推移

近隣・県内と比較しても割安な水道料金

現状の料金体系は、近隣事業体と比較して4番目に安く、県内でも10番目に安価な水準です。今後の料金改定については、『鳩山町水道事業審議会』において審議を進めています。



▲近隣事業体との比較（口径13mm水道料金）

このまま何もしなければ、何が起ころのか

修理に必要な資金が不足するということは、壊れた水道施設を直せないことを意味します。それは、ご家庭への給水が滞るなど、町民生活の根幹を揺るがす事態に直結しかねません。

漏水した箇所をその都度直すだけでは根本的な解決にならず、法定耐用年数が過ぎた管路が増え続けるだけです。

皆さまへのお願い

この危機的状況を乗り越え、これからも安心・安全な水を安定してお届けし続けるために、そして将来世代に大きな負担を先送りしないために、現在の水道利用者

の皆さまとともに、この課題の解決に取り組むために料金改定を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

埼玉県営水道値上げに伴う、町水道料金改定の検討を開始しました 進行する水道施設の老朽化の現状について

私たちが毎日何気なく使っている水道。しかし今、その「当たり前」を支え続けることが、非常に厳しい状況になっています。町内の水道施設は整備から50年以上が経過し、老朽化が進んでいます。今回は、水道が直面している施設などの現状についてお伝えします。■問合せ 役場上下水道課 ☎ 296-1228

増え続ける漏水と老朽化する管路

近年、町内では水道管の老朽化による漏水が相次いでいます。ある場所を修繕しても、すぐに別の場所でも新たな漏水が発生する状態が続いており、修繕費は増加を続けています。

下のグラフのとおり、法定耐用年数を超えた管路を示す『法定耐用年数超過管路率』（低い方がよい指標）は、給水人口規模に近い他の自治体（滑川町、嵐山町、川

島町、吉見町、毛呂山町、越生町）と比較しても高い水準にあります。本町では管路の3割以上がすでに法定耐用年数を迎えており、計画的な更新が急務となっています。さらに、地中の配管だけでなく、配水施設のポンプやバルブなどの電気・機械設備も劣化が著しく進んでいます。その予備施設自体も同様に老朽化が進んでいる状況です。



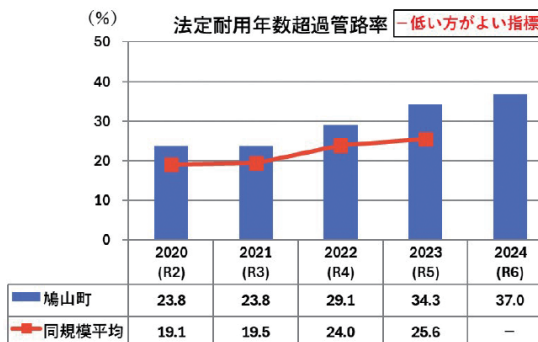
▲住宅街での緊急漏水工事（鳩ヶ丘地区）



▲水が噴き出している地中の老朽管



▲水道管布設工事（青色の管が最新のもの）



▲腐食が進行している浄水場のポンプ設備